

令和5年度（2023年度）

管理事業名	博物館事業				総合計画 の体系	大綱 7	都市魅力
						政策 2	文化・スポーツに親しめるまちづくり
						施策 2	文化財の保存と活用
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 8	博物館費
部局名	地域教育部	予算執行 所属	文化財保護課				
事業の目的と概要 ・地域の歴史・文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していく。その成果をさまざまな展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の歴史・文化を発見、見直し、創造していく。 ・市民が集い、多様な体験を活かしながら主体的に博物館活動に参加することで、さまざまな連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとする。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標の定義
特別展等回数	回	5	5	6	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数	数	7	7	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	29,939	33,229	40,820	良好な状態で保管している館蔵資料の数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】 特別展等回数についての評価 令和5年度は特別展や企画展を6回開催し、それぞれのテーマに関連する講演会・講座等を延べ55回実施し、うち25回は子供・親子を対象とした。 そのうち春季特別展では、新たに収集した大坂の陣関連の古文書を初公開し、秋季特別展では吹田ゆかりの大坂画壇の絵画を展示する等、吹田の地域史に焦点を当て、来館者アンケートでも「これまで知らなかった吹田の歴史が分かった。」などの記述が多くあり、市民の歴史学習に寄与できた。</p> <p>【成果指標2】 刊行物数についての評価 調査研究の成果は、展示図録、博物館だより、博物館館報を刊行し公表、また歴史講座・出前講座において口頭発表を行った。</p> <p>【成果指標3】 収蔵資料数についての評価 館蔵資料数は前年度から7,591点増加し、後世に残すべき資料として収蔵できた。新規収蔵資料に対しては燻蒸（年2回）を行い、また、館内の害虫棲息状況や浮遊菌等の環境モニター調査を年2回実施し、博物館資料に対する適正な保管環境を維持した。 博物館所蔵資料データベースをホームページ上に公開し、所蔵資料の活用の促進を図った。</p>	<p>【その他の活動実績・成果】 学校教育との連携では、小学校3・4年生副読本と連動した「むかしのくらしと学校」展を実施し、また、教育センターと連携して不登校児童・生徒に向けた職場体験プログラムの開発に取り組んだ。 小学校団体見学は24校（令和4年度は23校）で、教員アンケートによると見学に来た児童からは「むかしのひとの工夫がわかった」、「また来たい」などの感想があり、昔の道具等の体験による学習効果があった。 博物館協議会を開催し、事業の実績や計画を報告するとともに、当協議会委員による外部評価を受け、運営の改善や事業の水準の維持向上に努めた。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和3、4年度には実施しなかった無料観覧日を令和5年度には8日間実施し、出前講座等も含めた年間利用者数も増加したが、それ以上の給与関係費と委託料の増加による経常費用の増加のため、開館日1日当たりのコストは令和4年度に比べてやや増加した。</p>
--	---

III 課題と今後の取組

<p>令和8～12年度の間実施予定の大規模修繕に合わせ、常設展示の大規模リニューアルを行うことで吹田の歴史学習の拠点としての機能を高めていく。新規収集資料の蓄積、調査研究の成果や最新の学術的知見を取り入れた展示内容に更新し、市民の生涯学習を支援していく。 さらに、数多く所蔵している西村公朝氏の作品の公開・活用や、博物館資料データベースを充実させるなど、さらにデジタル化の推進等を通じ、より魅力的な博物館となるよう取組みを進める。</p>	<p>その他、増加する博物館資料の収蔵施設確保が課題であり、対策を検討している。</p>
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	4,520	5,372	853
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	4,520	5,372	853
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
固定資産	有形固定資産	1,334,067	1,264,334	△69,733	固定負債	40,766	48,194	7,428
	土地	-	-	-	地方債	-	-	-
	建物・工作物	1,334,067	1,264,334	△69,733	長期借入金	-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	40,766	48,194	7,428
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
	無形固定資産	297	297	-	その他流動負債	-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	45,286	53,566	8,280
	土地	-	-	-	純資産	1,295,463	1,217,193	△78,270
	建物・工作物	-	-	-				
	建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	6,385	6,128	△256	純資産の部合計	1,295,463	1,217,193	△78,270	
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,340,749	1,270,759	△69,989	
投資その他の資産	-	-	-					
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	1,340,749	1,270,759	△69,989					

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	492	711	677	△34
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	393	669	600	△68
経常収入 小計(a)	885	1,379	1,277	△102	
経常費用	給与関係費	54,253	63,470	71,543	8,073
	物件費	184,962	66,813	79,743	12,930
	維持補修費	26,769	16,769	1,523	△15,246
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	373	938	843	△95
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	58,249	68,438	69,989	1,551
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
	賞与引当金繰入額	3,477	4,520	5,372	853
	退職手当引当金繰入額	5,102	9,580	9,913	333
支払利息	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
経常費用 小計(b)	333,184	230,528	238,927	8,399	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△332,300	△229,149	△237,650	△8,501	
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△332,300	△229,149	△237,650	△8,501	
一般財源充当額	476,352	226,214	159,380	△66,834	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	144,052	△2,935	△78,270	△75,335	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	885	1,379	1,277	△102
行政サービス活動支出	272,577	155,078	160,657	5,579
行政サービス活動収支差額	△271,692	△153,699	△159,380	△5,681
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	204,660	72,515	-	△72,515
投資活動収支差額	△204,660	△72,515	-	72,515
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△476,352	△226,214	△159,380	66,834
一般財源充当額	476,352	226,214	159,380	△66,834
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	減価償却による資産の減
【PL】 給与関係費	主に令和4年度に欠員となっていた職員1名の補充による増
【PL】 物件費	主に委託料において、令和3年度の空調工事の瑕疵担保期間として令和4年度にはなかった保守点検業務の再開や新規実施、また、複数の委託業務の物価等の高騰による契約金額の増
【PL】 維持補修費	令和4年度に実施した工事や修繕にかかる維持補修費が、令和5年度の修繕料を大きく上回ったことによる減
【PL】 減価償却費	令和4年度に実施したエレベータ改修工事により資産が増えたことによる減価償却費の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者1人	コスト	26,625円	15,727円	14,604円
	実績	12,514人	14,658人	16,360人
開館日1日	コスト	1,423,863円	800,444円	818,243円
	実績	234日	288日	292日

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和3、4年度には実施しなかった無料観覧日を令和5年度には8日間実施し、出前講座等も含めた年間利用者数も増加しましたが、それ以上の給与関係費と委託料の増加による経常費用の増加のため、開館日1日当たりのコストは令和4年度に比べてやや増加した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	76,457	3,609	7.98
会計年度任用等	6,679	-	-
特別職非常勤	3,692	-	-
合計	86,828	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		55.7	56.6	58.9	2.3
施設維持補修費比率		0.9	0.5	0.0	△0.5
経常費用対公共資産比率		11.1	7.5	7.8	0.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.1	0.3	0.3	0.0
一般財源充当比率		99.8	99.4	99.2	△0.2